

(地震)第70工区下水道工事(交付金)

積算参考資料①

補助

## 数量計算書

φ 450 複合管

HP φ450mm

## 準備工数量総括表

3 スパン

路線延長 193.75m 更正延長 190.30m

工 種		形 状 寸 法	単 位	数 量	備 考
準備工	管渠調査工				
	管渠洗浄工		m	190.3	
	TVカメラ調査工		m	190.3	
	前処理工				
	換気水替工				
	換気工		日	1	
	止水プラグ	φ450	日	1	
	交通誘導員				
	交通誘導員A	交替要員1(人/日)含む	人	2	本工事へ
	交通誘導員B		人	1	本工事へ

準備工数量 HP φ 450mm

管路調査工数量表

路線No.	既設管径 (mm)	路線延長 (m)	管きょ延長 (m)	人孔径		止水プラグ			取付管 本数 (本)	備考
				上流 (m)	下流 (m)	φ 450 (個)				
台111-2B	450	65.65	64.75	0.90	0.90	2			6	
台112	450	70.10	69.05	0.90	1.20	1			6	
台113	450	58.00	56.50	1.20	1.80	1			6	
TOTAL		193.75	190.30						18	

450 mm:	193.75 m	190.30 m
mm:	m	m
mm:	m	m
TOTAL	193.75 m	190.30 m

前処理工数量表

路線No.	取付管 突出処理 (箇所)	モルタル 等 除去 (箇所)	木根等 除去 (箇所)	備考
台111-2B				
台112				
台113				
TOTAL	-	-	-	

HP φ450mm

管渠更生工数量総括表 (1/2)

3 スパン

路線延長 193.75m 更正延長 190.30m

工 種		形 状 寸 法	単 位	数 量	備 考
管 更 生 工	更生材料				
	更生材料		m	2,943.5	
	製管工				
	製管	HP φ450mm	m	190.30	
	更生管材融着工		箇所	6	
	裏込め工				
	注入口取付工	粘土モルタル(1:1) t=5cm	回	3	
	浮上防止工		m	190.30	
	注工		m <sup>3</sup>	4.0	
	浮上防止チェーン損料	大 34.40kg/m×5.0m/本	本	39	
	仕上げ工				
	本管口仕上工	モルタル(1:2) t=5cm	箇所	6	
	取付管口せん孔仕上工		箇所	18	
	マンホール底部仕上工(1号)	モルタル厚t=20mm	箇所	2	0.85m <sup>2</sup>
	マンホール底部仕上工(2号)	モルタル厚t=20mm	箇所	1	1.41m <sup>2</sup>
	仮設備工				
	仮設備設置工		回	6	
	仮設備撤去工		回	6	
	仮製管工		回	3	
	製管機搬入組立工		回	3	
	製管機分解搬出工		回	3	

HP  $\phi$  450mm

管渠更生工数量総括表 (2/2)

3 スパン

路線延長 193.75m 更正延長 190.30m

[illegible]

## I.製管工数量

管径(D): 450 mm

### ①更生管材数量

$$\begin{aligned} L_K &= \pi (d+H) \times (L+1) / W \\ &= \pi (0.41+0.0119) \times (L+1) / 0.087 \\ &= 15.2272 \times (L+1) \end{aligned}$$

$L_K$ : 1スパン当りの更生管材延長(m)

d: 更生管径(m) 0.41

H: 更生管材高(m) 0.0119

L: 製管延長(m)

W: 更生材幅(m) 0.087

### ②仮設備設置・撤去回数(=製管日数)

$$\begin{aligned} n &= \{(L_K/L_D) - D_F\} / D_1 + 1 \\ &= \{(L_K/) - 1\} / +1 \end{aligned}$$

n: 仮設備設置・撤去回数(端数切上げ)=製管日数

$L_K$ : 1スパン当りの更生管材延長(①参照)

$L_D$ : 1ドラム当りの更生管材延長(m)

$D_1$ : 1日当りの使用ドラム数(個)

$D_F$ : 初日使用ドラム回数(個)


### ③融着箇所数

$$\begin{aligned} J &= [\{\pi \times (d+H) \times (L+1) / W\} / L_D] - 1 + (n-1) \\ &= [L_K/] - 1 + (n-1) \end{aligned}$$

J: 融着箇所数(箇所) (端数切上げ整数)

### 更生管材延長及び仮設備回数及び融着箇所数

路線No.	既設管径 (mm)	路線延長 (m)	上流人孔径 (m)	下流人孔径 (m)	製管延長 L(m)	取付管数 (箇所)	更生管材延長① (Lk) (m)	製管日数 (日)	仮設備回数② n(回)	融着箇所数③ J(箇所)
台111-2B	450	65.65	0.90	0.90	64.75	6	1,001.2		2	2
台112	450	70.10	0.90	1.20	69.05	6	1,066.7		2	2
台113	450	58.00	1.20	1.80	56.50	6	875.6		2	2
TOTAL		193.75			190.30	18	2,943.5		6	6

## Ⅱ.裏込工、仕上工数量

管径(D): 450 mm

### ④裏込材注入量

$$Q = \pi \{D^2 - (d+H)^2\} / 4 \times L \times \alpha$$

$$= 0.0212 \times L$$

Q: 裏込材体積(m3)

α: 割増率(標準1.10)

1.10

### ⑤粘土モルタルの数量(注入口取付工)

$$V = \pi (D^2 - d^2) / 4 \times t \times 2$$

$$= \pi (0.45^2 - 0.41^2) / 4 \times 0.05 \times 2$$

$$= 0.003$$

V: 1スパン当たりの粘土モルタル体積(m3)

t: 粘土モルタルの厚さ(m) (標準t=0.05m)

0.05

⑥注入口取付回数 = スパン数 = 3 回

### ⑦浮上防止工 (=製管延長)

浮上防止用チェーン

既設管径	浮上防止チェーン規格	5m当り条数
450 mm	小 19.35kg/m × 5.0m/本	
	大 34.40kg/m × 5.0m/本	1

⑧本管口仕上工 = スパン数 × 2 (上下流口)

= 3 × 2

= 6 箇所

$$v = \pi (D^2 - d^2) / 4 \times t'$$

$$= \pi (0.45^2 - 0.41^2) / 4 \times 0.05$$

$$= 0.001$$

v: 1箇所当りのモルタル体積(m3)

t': モルタルの厚さ(m) (標準t'=0.05m)

0.05

⑨取付管口せん孔仕上工 = 取付管本数

### ⑩マンホール底部仕上工

既設管径 (mm)	モルタル上塗り面積(m2/箇所)		
	円形1号マンホール 1号マンホール	円形2号マンホール 2号マンホール	円形3号マンホール 3号マンホール
450	0.85	1.41	2.12

※原則,上流側マンホールについて、計上。

### 裏込工、仕上工数量表

路線No.	既設管径 (mm)	路線延長 (m)	製管延長 L(m)	裏込材量 ④ Q(m3)	注入口取付粘土モルタル ⑤ V(m3)	管口仕上モルタル ⑧ v(m3)	⑩マンホール底部仕上工			⑦浮上防止チェーン	
							1号 (箇所)	2号 (箇所)	3号 (箇所)	小 (本)	大 (本)
台111-2B	450	65.65	64.75	1.37	0.003	0.001	1				13
台112	450	70.10	69.05	1.46	0.003	0.001	1				14
台113	450	58.00	56.50	1.20	0.003	0.001		1			12
TOTAL		193.75	190.30	4.03	0.009	0.003	2	1			39



Ⅲ.仮設備工数量

管径(D): 450 mm

①仮設備回数	
仮設備設置・撤去回数	= (製管1日当り1回＝製管日数)
	= 6 回
仮製管工	= 1スパン当たり1回
	= 3 回
製管機搬入組立・分解搬出	= 1スパン当たり1回
	= 3 回

補助

## 数量計算書

φ 600 複合管

HP φ 600mm

## 準備工数量総括表

1 スパン

路線延長 20.50m 更正延長 19.00m

工 種		形 状 寸 法	単 位	数 量	備 考
準備工	管渠調査工				
	管渠洗浄工		m	19.0	
	TVカメラ調査工		m	19.0	
	前処理工				
	換気水替工				
	換気工		日	1	
	止水プラグ	φ 600	日	1	
	交通誘導員				
	交通誘導員A	交替要員1(人/日)含む	人	2	本工事へ
	交通誘導員B		人	1	本工事へ

準備工数量 HP φ 600mm

管路調査工数量表

路線No.	既設管径 (mm)	路線延長 (m)	管きょ延長 (m)	人孔径		止水プラグ			取付管 本数 (本)	備考
				上流 (m)	下流 (m)	φ600 (個)				
台400-1	600	20.50	19.00	1.80	1.20	1				
TOTAL		20.50	19.00							

600 mm:	20.50 m	19.00 m
mm:	m	m
mm:	m	m
TOTAL	20.50 m	19.00 m

前処理工数量表

路線No.	取付管 突出処理 (箇所)	モルタル 等 除去 (箇所)	木根等 除去 (箇所)	備考
台400-1				
TOTAL	-	-	-	

HP φ600mm

管渠更生工数量総括表 (1/2)

1 スパン

路線延長 20.50m 更正延長 19.00m

工 種		形 状 寸 法	単 位	数 量	備 考
管 更 生 工	更生材料				
	更生材料		m	405.6	
	製管工				
	製管	HP φ600mm	m	19.00	
	裏込め工				
	注入口取付工	粘土モルタル(1:1) t=5cm	回	1	
	浮上防止工		m	19.00	
	注工		m3	0.7	
	浮上防止チェーン損料	大 34.40kg/m×5.0m/本	本	4	
	浮上防止チェーン損料	小 19.35kg/m×5.0m/本	本	4	
	仕上げ工				
	本管口仕上工	モルタル(1:2) t=5cm	箇所	2	
	取付管口せん孔仕上工		箇所	0	
	マンホール底部仕上工(4号)	モルタル厚t=20mm	箇所	1	3.10m2
	仮設備工				
	仮設備設置工		回	1	
	仮設備撤去工		回	1	
	仮製管工		回	1	
	製管機搬入組立工		回	1	
	製管機分解搬出工		回	1	

HP  $\phi$  600mm

管渠更生工数量総括表 (2/2)

1 スパン

路線延長 20.50m 更正延長 19.00m

[illegible]

## I.製管工数量

管径(D): 600 mm

### ①更生管材数量

$$\begin{aligned} L_K &= \pi (d+H) \times (L+1) / W \\ &= \pi (0.55+0.0119) \times (L+1) / 0.087 \\ &= 20.2801 \times (L+1) \end{aligned}$$

$L_K$ : 1スパン当りの更生管材延長(m)

d: 更生管径(m) 0.55

H: 更生管材高(m) 0.0119

L: 製管延長(m)

W: 更生材幅(m) 0.087

### ②仮設備設置・撤去回数(=製管日数)

$$\begin{aligned} n &= \{(L_K/L_D) - D_F\} / D_1 + 1 \\ &= \{(L_K/) - 1\} / +1 \end{aligned}$$

n: 仮設備設置・撤去回数(端数切上げ)=製管日数

$L_K$ : 1スパン当りの更生管材延長(①参照)

$L_D$ : 1ドラム当りの更生管材延長(m)

$D_1$ : 1日当りの使用ドラム数(個)

$D_F$ : 初日使用ドラム回数(個)


### ③融着箇所数

$$\begin{aligned} J &= [\{\pi \times (d+H) \times (L+1) / W\} / L_D] - 1 + (n-1) \\ &= [L_K/] - 1 + (n-1) \end{aligned}$$

J: 融着箇所数(箇所) (端数切上げ整数)

更生管材延長及び仮設備回数及び融着箇所数

路線No.	既設管径 (mm)	路線延長 (m)	上流人孔径 (m)	下流人孔径 (m)	製管延長 L(m)	取付管数 (箇所)	更生管材延長① (Lk) (m)	製管日数 (日)	仮設備回数② n(回)	融着箇所数③ J(箇所)
台400-1	600	20.50	1.80	1.20	19.00		405.6		1	
TOTAL		20.50			19.00		405.6		1	

## Ⅱ.裏込工、仕上工数量

管径(D): 600 mm

### ④裏込材注入量

$$Q = \pi \{D^2 - (d+H)^2\} / 4 \times L \times \alpha$$

$$= 0.0382 \times L$$

Q: 裏込材体積(m3)

α: 割増率(標準1.10)

1.10

### ⑤粘土モルタルの数量(注入口取付工)

$$V = \pi (D^2 - d^2) / 4 \times t \times 2$$

$$= \pi (0.60^2 - 0.55^2) / 4 \times 0.05 \times 2$$

$$= 0.005$$

V: 1スパン当たりの粘土モルタル体積(m3)

t: 粘土モルタルの厚さ(m) (標準t=0.05m)

0.05

⑥注入口取付回数 = スパン数 = 1 回

### ⑦浮上防止工 (=製管延長)

浮上防止用チェーン

既設管径	浮上防止チェーン規格	5m当り条数
600 mm	小 19.35kg/m × 5.0m/本	1
	大 34.40kg/m × 5.0m/本	1

⑧本管口仕上工 = スパン数 × 2 (上下流口)

= 1 × 2

= 2 箇所

$$v = \pi (D^2 - d^2) / 4 \times t'$$

$$= \pi (0.60^2 - 0.55^2) / 4 \times 0.05$$

$$= 0.002$$

v: 1箇所当りのモルタル体積(m3)

t': モルタルの厚さ(m) (標準t'=0.05m)

0.05

⑨取付管口せん孔仕上工 = 取付管本数

### ⑩マンホール底部仕上工

既設管径 (mm)	モルタル上塗り面積(m2/箇所)		
	円形4号マンホール 4号マンホール		
600	3.10		

※原則,上流側マンホールについて、計上。

### 裏込工、仕上工数量表

路線No.	既設管径 (mm)	路線延長 (m)	製管延長 L(m)	裏込材量 ④ Q(m3)	注入口取付粘土モルタル ⑤ V(m3)	管口仕上モルタル ⑧ v(m3)	⑩マンホール底部仕上工			⑦浮上防止チェーン	
							4号 (箇所)	2号 (箇所)	3号 (箇所)	小 (本)	大 (本)
台400-1	600	20.50	19.00	0.73	0.005	0.002	1			4	4
TOTAL		20.50	19.00	0.73	0.005	0.002	1			4	4



Ⅲ.仮設備工数量

管径(D): 600 mm

①仮設備回数	
仮設備設置・撤去回数	= (製管1日当り1回＝製管日数)
	= 1 回
仮製管工	= 1スパン当たり1回
	= 1 回
製管機搬入組立・分解搬出	= 1スパン当たり1回
	= 1 回

補助

## 数量計算書

φ 900 複合管

路線延長：L=54.60m

更生延長：l=53.10m

HP φ 900mm

管渠更生工数量総括表

1 スパン

工 種		形 状 寸 法	単位	数 量	備 考
準備工	管渠調査工				
	管渠洗浄工		m	53.1	
	目視調査工		m	53.1	
	換気工				
	換気工		日	1	
管渠更生工	更生材料				
	更生材料	S形 t=12.5mm	m	482.4	
	嵌合部材使用量	S形	m	482.4	
	製管工				
	スペーサー取付工	S型 2箇所（側部）	m	53.10	
	端部製管工	φ 900	m	1.50	
	製管工	φ 900	m	51.60	
	端部緊張工		箇所	2	
	充填材注入工				
	充填材注入工		m	53.10	
	充填材ストッパー工		箇所	2	
	管内注入口工		箇所	44	
	管口仕上げ工				
	本管口仕上工	φ 900	箇所	2	下半面すりつけ
	取付管口仕上工	φ 200以下	箇所	16	
	既設管補強工				
	既設管内補強工		m	53.1	
	換気工				
	換気工		日	18	
	安全費				
	交通誘導員B	交替要員1(人/日)含む	人	57	

## 1. 管きょ内洗浄工・調査工

### 1.1 施工前本管管きょ内清掃工・調査工延長

路線 番号	既設管 呼び径 (mm)	路線延長 (m)	マンホール寸法		管きょ 延長 (m)	取付管本数 (本)
			上 流 (m)	下 流 (m)		
WK台52	900	54.60	1.50	1.50	53.10	16
計		54.60			53.10	16

1 スパン

### 1.2 事前処理工

路線 番号	取付管突出処理 (箇所)	モルタル除去 (箇所)	木根等除去 (箇所)
WK台52	0	0	0
計	0	0	0

## 2. 水替工

水替ホヅ° なし

### 3. 製管工

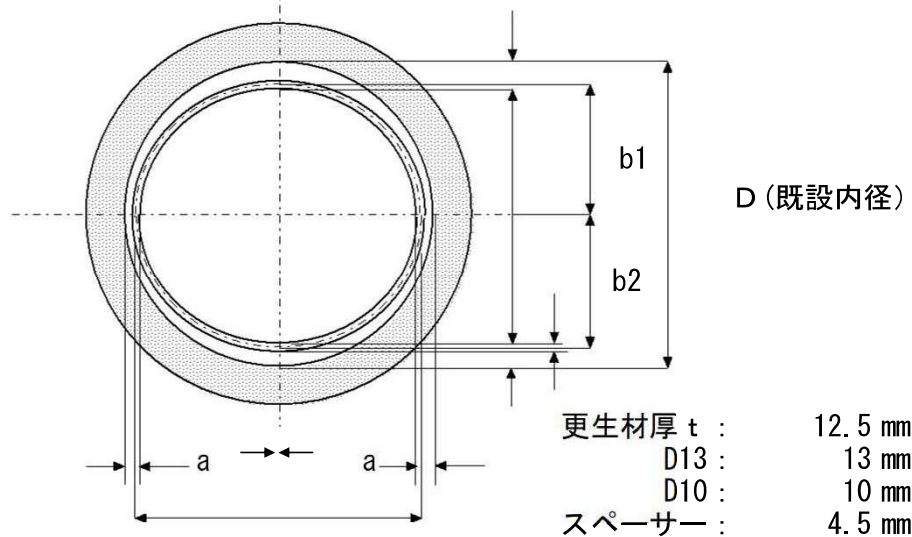
#### 3.1 既設管条件

路線 番号	既設管呼び径 (mm)	既設管実内径 (mm)	管きょ延長 ① (m)	備考
WK台52	900	900	53.10	
計			53.10	

#### 3.2 更生材使用量

(1) 路線番号 WK台52

既設管実内径 : 900 mm  
下図、更生断面図より算定



$$\begin{aligned}
 a &: 416.25 \text{ mm (既設管実内径/2 - 更生材厚/2 - D13 - D10 - スペーサー)} \\
 b1 &: 420.75 \text{ mm (既設管実内径/2 - 更生材厚/2 - D13 - D10)} \\
 b2 &: 420.75 \text{ mm (既設管実内径/2 - 更生材厚/2 - D13 - D10)} \\
 \text{上半楕円周長 } L1 &= \pi \times \sqrt{((a^2 + b1^2) / 2)} \\
 &= \pi \times \sqrt{((0.416^2 + 0.421^2) / 2)} \\
 &= 1.31 \text{ m} \\
 \text{下半円周長 } L2 &= \pi \times \sqrt{((a^2 + b2^2) / 2)} \\
 &= \pi \times \sqrt{((0.416^2 + 0.421^2) / 2)} \\
 &= 1.31 \text{ m} \\
 \therefore \text{周長 } L &= L1 + L2 \\
 &= 1.31 + 1.31 \\
 &= 2.62 \text{ m} \\
 \text{製管1m当り更生材使用量} &= L \times (1000 / (B1 + B2)) \\
 &= 2.62 \times (1000 / (255 + 35)) \\
 &= 9.0 \text{ m (3)}
 \end{aligned}$$

更生材幅 B1 : 255 mm  
嵌合材幅 B2 : 35 mm

(2) 更生材使用量集計表

路線 番号	既設管 実内径 (mm)	路線延長 (m)	管きょ延長 ① (m)	巻立延長 ①+(B1*2) ② (m)	更生材 使用量 ③ (m/m)	更 生 材 使用数量 ②*③ (m)	形状
WK台52	900	54.60	53.10	53.61	9.0	482.49	S形
計		54.60	53.10	53.61		482.49	

3.2 嵌合部材使用量

更生材使用量と同じ

3.3 スペーサー取付工

スペーサー	路線番号	タイプ	管きょ延長 (m)		設置箇所	使用量 (m)
S型	WK台52	標準	53.10	53.10	2箇所 (側部)	53.10

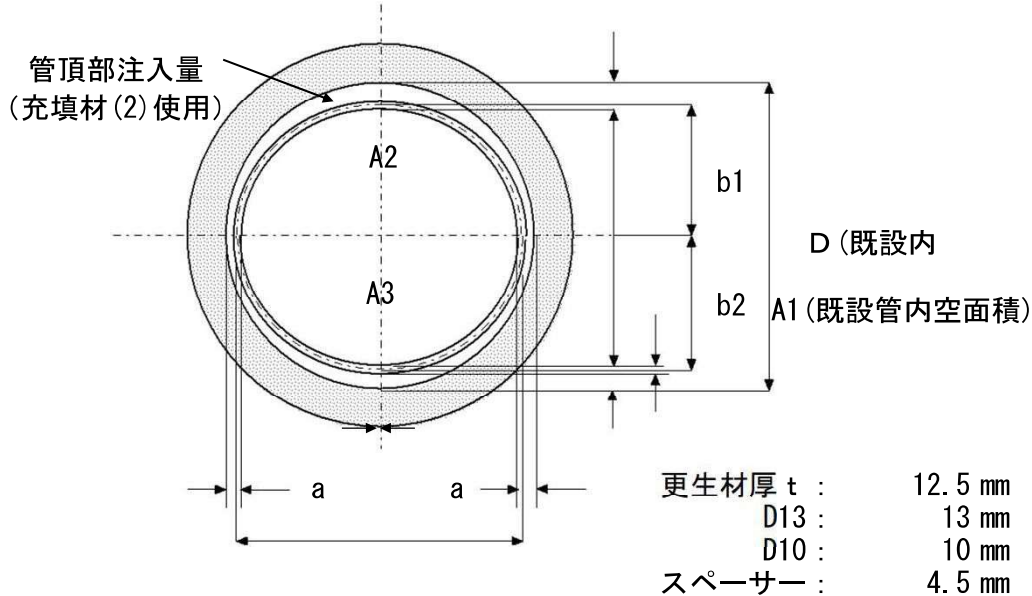
3.4 製管工

路線 番号	既設管 実内径 (mm)	路線延長 (m)	管きょ延長 (m)	端部製管工 (m)	製管工 (m)	端部緊張工 (箇所)
WK台52	900	54.60	53.10	1.50	51.60	2
計		54.60	53.10	1.50	51.60	2

#### 4. 充填工

(1) 路線番号 WK台52

既設管実内径 : 900 mm



$$\begin{aligned}
 a &: 416.25 \text{ mm (既設管実内径/2 - 更生材厚/2 - D13 - D10 - スペーサー)} \\
 b1 &: 420.75 \text{ mm (既設管実内径/2 - 更生材厚/2 - D13 - D10)} \\
 b2 &: 420.75 \text{ mm (既設管実内径/2 - 更生材厚/2 - D13 - D10)} \\
 \text{既設管内空面積 } A1 &= \pi \times D^2 / 4 \\
 &= \pi \times 0.900^2 / 4 \\
 &= 0.636 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{上半楕円内空面積 } A2 &= \{ \pi \times (a - t/2) \times (b1 - t/2) \} / 2 \\
 &= \{ \pi \times (0.416 - 0.0125/2) \times (0.421 - 0.0125/2) \} / 2 \\
 &= 0.267 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{下半円内空面積 } A3 &= \{ \pi \times (a - t/2) \times (b2 - t/2) \} / 2 \\
 &= \{ \pi \times (0.416 - 0.0125/2) \times (0.421 - 0.0125/2) \} / 2 \\
 &= 0.267 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

$$1\text{m当り更生材容量} = 0.010 \text{ m}^3/\text{m}$$

$$1\text{m当りスペーサー等容量} = 0.001 \text{ m}^3/\text{m}$$

$$1\text{m当り補強材容量} = 0.003 \text{ m}^3/\text{m}$$

$$\begin{aligned}
 1\text{m当り充填材注入量 } V &= \{ A1 - (A2 + A3) \} \times 1\text{m} - 1\text{m当り (更生材 + スペーサー + 補強材容量) 容量} \\
 &= 0.088 \text{ m}^3/\text{m}
 \end{aligned}$$

鋼材容量 (補強鋼材容量)

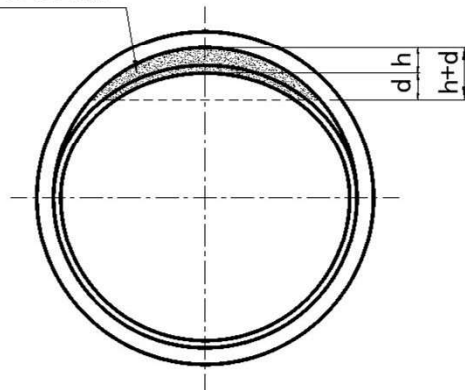
$$\begin{aligned}
 &= \text{補強鋼材重量 (鉄筋)} \div \text{比重} \\
 &= (17.3 + 9.4) / 1000 \div 7.85 \\
 &= 0.003 \text{ m}^3/\text{m}
 \end{aligned}$$

補強材数量

1m当り

名称	規格	重量 (kg)
主鉄筋	D13	17.3
配力筋	D10	9.4

管頂部充てん箇所



管頂部高h: 35.5 mm

切替位置高d: 100 mm

最終注入部高

h + d : 135.5 mm

更生材幅 B1 : 255 mm

嵌合材幅 B2 : 35 mm

管頂部注入量（充てん材2）

CAD 更生断面図より

管頂部充てん面積（CADより）= 0.024 m<sup>2</sup>/m

ストリップ長（CADより）= 0.606 m  
 $= 0.606 \times (1000 / (255 + 35))$   
 $= 2.1 \text{ m/m}$

1m当り ストリップ管容量 = 0.002 m<sup>3</sup>/m

充填材(2) 1m当たり注入量 =  $0.024 - 0.002$   
0.022 m<sup>3</sup>/m (②)

充填材(1) 1m当たり注入量 =  $V - \text{②充填材(2) 1m当り注入量}$   
0.066 m<sup>3</sup>/m (③)



(2) 充填材使用量集計表

路線 番号	既設管 実内径 (mm)	路線延長 (m)	管きょ延長 ① (m)	充填材1 使用量 ③ (m3/m)	充填材2 使用量 ② (m3/m)	充填材1 使用数量 ①×③ (m3)	充填材2 使用数量 ①×② (m3)	充填材ス トッパー (箇所)
WK台52	900	54.60	53.10	0.066	0.022	3.505	1.168	2
計		54.60	53.10			3.505	1.168	2

$$\begin{aligned}
 1 \text{箇所当り急結モルタル量} &= 1 \text{m当り充填材注入量} \times 0.05 \\
 &= 0.088 \times 0.05 \\
 &= 0.004 \text{ m}^3/\text{箇所}
 \end{aligned}$$

5. 管内注入口工

$$\begin{aligned}
 \text{削孔ピッチ} \quad \text{側部:} \quad & 3.0 \text{ m} \quad \text{管頂部:} \quad 7.0 \text{ m} \\
 N = 53.1/3 \times 2 & \quad N = 53.1/7 \\
 = 36 & \quad = 8 \\
 & \quad \underline{44 \text{ 箇所}}
 \end{aligned}$$

6. 本管口仕上工

路線 番号	既設管呼び径 (mm)	管口仕上工 上下流管口 (箇所)
WK台52	900	2
計		2

①管口下半面をすりつける場合

1箇所当りエポキシコーキング量(L)

$$\begin{aligned}
 &= \{ 1 \text{m当り充填材注入量} \times 0.01 + (\text{既設管下半分内空面積} - \text{更生管下半分内空面積}) \times 0.05/2 \} \times 1000 \\
 &= \{ 0.088 \times 0.01 + (0.318 - 0.267) \times 0.05/2 \} \times 1000 \\
 &= 2.16 \text{ L/箇所}
 \end{aligned}$$

7. 取付け管口仕上工

路線 番号	既設管呼び径 (mm)	取付管口仕上工				
		φ 200以下 (箇所)	φ 250 (箇所)	φ 300 (箇所)	φ 350 (箇所)	φ 400 (箇所)
WK台52	900	16				
計		16				

補助

## 数量計算書

管口耐震化工

管きょ接続部耐震化工 数量総括表【補助】

工 種	規 格	単位	数 量	備 考
管きょ接続部耐震化工				
管口可とう化	φ900(複合管)	箇所	2	管口耐震化工(その1)
	φ450(複合管)	箇所	6	管口耐震化工(その2)
	φ600(複合管)	箇所	1	管口耐震化工(その3)
	φ600(複合管)	箇所	1	管口耐震化工(その4)
洗浄工				管きょ更生工・準備工にて計上
換気工	昼間	日	3	
	夜間	日	4	
交通誘導員				
交通誘導員A	夜間 交替要員1(人/日)含む	人	8	
交通誘導員B	夜間	人	4	
交通誘導員B	昼間 交替要員1(人/日)含む	人	9	

管口耐震化工事箇所調書

継手番号	路線番号	管きょ規格	止水プラグ(個)						備 考
WK台52(上流側)	WK台52	φ900(複合管)							管口耐震化工(その1)
WK台52(下流側)									管口耐震化工(その1)
台111-2B(上流側)	台111-2B	φ450(複合管)							管口耐震化工(その2)
台111-2B(下流側)									管口耐震化工(その2)
台112(上流側)	台112	φ450(複合管)							管口耐震化工(その2)
台112(下流側)									管口耐震化工(その2)
台113(上流側)	台113	φ450(複合管)							管口耐震化工(その2)
台113(下流側)									管口耐震化工(その2)
台400-1(上流側)	台400-1	φ600(複合管)							管口耐震化工(その3)
台400-1(下流側)									管口耐震化工(その4)

単独

## 数量計算書

マンホール更生工

## マンホール更生工数量総括表【単独】

工種	種別	名称	規格	単位	数量	備考
準備工						
施工前処理工	足掛金物等撤去工	足掛金物撤去	昼間	箇所	19	
			夜間	箇所	14	
	洗浄工	洗浄	昼間	m <sup>2</sup>	31	
			夜間	m <sup>2</sup>	45	
人孔更生工						
材料	斜壁ライナー	1号	H=～600	本	6	
		2号	H=～600	本	3	
	直壁ライナー	1号	H=1000	本	5	
		2号	H=2000	本	3	
		3号	H=2000	本	2	
	専用パネル			m <sup>2</sup>	26	
	専用モルタル			kg	6776	
	プライマー			kg	5	
	補強材A	炭素繊維		m <sup>2</sup>	61	
	補強材B	炭素繊維		m <sup>2</sup>	13	
	溶接棒			kg	18	
	コンクリートアンカー			本	84	
	専用型枠			m <sup>2</sup>	52	
	専用治具			m <sup>2</sup>	20	
人孔更生工		GS-52-0.GS-53-1-0.GS2-400-2	昼間	箇所	3	
		GS2-47-1-1.GS2-112-1.GS2-113-1 GS-116-1-0.GS2-115-1	夜間	箇所	5	
仕上工						
材料	エポキシ樹脂			kg	31	
	管口仕上工	φ200	夜間	箇所	1.5	
		φ250	昼間	箇所	1	
		φ300	昼間	箇所	1	
		φ450	夜間	箇所	6	
		φ500	夜間	箇所	1	
		φ600	昼間	箇所	1	
		φ600	夜間	箇所	2.5	
		φ800	昼間	箇所	0.5	
		φ900	昼間	箇所	1.5	
		φ1350	夜間	箇所	1	
	足掛金物等設置工	足掛金物設置	昼間	本	24	
			夜間	本	35	
換気工			昼間	日	29	
			夜間	日	41	
交通誘導員						
交通誘導員B		昼間	交替要員1(人/日)含む	人	87	
交通誘導員A		夜間	交替要員1(人/日)含む	人	82	
交通誘導員B		夜間		人	41	

## 準備工 数量集計表

番号	準備工				
	洗浄工			足掛金物撤去	備考
	斜壁	スラブ	直壁		
	(m2)	(m2)	(m2)	(本)	
GS-52-0	1.46	1.13	8.35	6	昼間
GS-53-1-0	1.46	1.13	7.59	7	昼間
GS2-47-1-1	1.46		2.40	4	夜間
GS2-112-1	1.46		2.80	4	夜間
GS2-113-1	1.90		4.56	0	夜間
GS-116-1-0	1.46	2.96	13.29	6	夜間
GS2-115-1	1.90	1.41	10.07	0	夜間
GS2-400-2	3.50		6.71	6	昼間
計	14.60	6.63	55.77	33	

人孔更生工 材料集計表

マンホール規格					使用材料													
番号	種別			深	ライナー					専用 パネル	専用 モルタル	補強材 A	補強材 B	プライマー	溶接棒	コンクリート アンカー	専用 型枠	専用 治具
					斜壁 H～600		直壁											
	円形	矩形			1号	2号	1号	H2000										
								1号	2号									
(mm)	(mm)	(mm)	(m)	(本)	(本)	(本)	(本)	(本)	(m2)	(kg)	(m2)	(m2)	(kg)	(kg)	(本)	(m2)	(m2)	
GS-52-0	1500			3.15	1		1		1	1.38	689.93	11.04		0.72	2.83	5	9.41	1.06
GS-53-1-0	1500			2.99	1		1		1	1.38	645.61	10.12		0.67	2.83	5	8.69	1.06
GS2-47-1-1	900			1.93	1		1			237.80	2.88		0.25	0.66		3.78		
GS2-112-1	900			2.07	1		1			260.76	3.36		0.28	0.66		4.15		
GS2-113-1	1200			2.29		1		1		398.20	5.47		0.43	0.90		6.43		
GS-116-1-0		1800	2000	3.80	1		1			14.65	2862.38	6.37	13.13	1.17	5.26	46	3.99	11.27
GS2-115-1	1800			3.28		1		1		8.80	1059.46	13.78		0.88	4.17	28	6.03	6.77
GS2-400-2	1200			3.53	1	1		1		622	8.05		0.67	1.56		10.01		
計					6	3	5	3	2	26.21	6776.14	61.07	13.13	5.07	18.87	84	52.49	20.16



## 仕上工 数量集計表

番号	仕上工											足掛金物設置	備考
	管口加工												
	φ 200	φ 250	φ 300	φ 450	φ 500	φ 600	φ 800	φ 900	φ 1350	計			
	(0.78kg)	(0.93kg)	(1.09kg)	(1.56kg)	(1.71kg)	(2.02kg)	(2.64kg)	(2.95kg)	(4.35kg)	エポキシ樹脂			
	(箇所)	(箇所)	(箇所)	(箇所)	(箇所)	(箇所)	(箇所)	(箇所)	(箇所)	(kg)	(本)		
GS-52-0		1					0.5	0.5		3.73	8	昼間	
GS-53-1-0			1			1		1		6.06	7	昼間	
GS2-47-1-1				3						4.68	6	夜間	
GS2-112-1				1						1.56	5	夜間	
GS2-113-1				1						1.56	6	夜間	
GS-116-1-0	1			1	1				1	8.40	9	夜間	
GS2-115-1	0.5					1.5				3.42	9	夜間	
GS2-400-2						1				2.02	9	昼間	
計	1.5	1	1	6	1	3.5	0.5	1.5	1	31.42	59		

マンホール 複合更生計算書									
マンホール番号		種別		深	流入出管径				
GS-52-0		円形	1500	3.15	900	800	250		
		矩形			底部	底部			
形状図									
GS-52-0									
数量表									
名称	規格			算式		単位	数量		
準備工									
洗浄・はつり	斜壁			$\pi (0.45+0.3) \sqrt{(0.45-0.3)^2+0.6^2}$		m2	1.46		
	直壁①			$0.9 \times \pi \times 0.2$		m2	0.57		
	スラブ			$1/4 \times 1.5 \times 1.5 \times \pi - 1/4 \times 0.9 \times 0.9 \times \pi$		m2	1.13		
	直壁②			$1.5 \times \pi \times 1.65$		m2	7.78		
足掛金具	撤去					本	6		
人孔更生工									
使用材料									
斜壁ライナー	1号	H~600 t=3mm	0.60			本	1		
		H=1.0m t=3mm	0.25			本	1		
直壁ライナー	1号	H=2.0m t=3mm				本			
		H=1.0m t=3mm				本			
	3号	H=1.0m t=3mm				本			
		H=2.0m t=3mm	1.60			本	1		
専用パネル	t=5mm		$1.06 \times 1.3$ (取率)		m2	1.38			
補強材A	炭素繊維 (直壁①+スラブ+直壁②)		$(0.57+1.13+7.78) \times 1.2$ (取率)		m2	11.04			
溶接棒	ワイヤー	1号直壁①	$(0.9-0.07) \times \pi \times 2 \times 0.23 \times 1.1$ (取率)		kg	1.32			
		3号直壁②	$(1.5-0.07) \times \pi \times 1 \times 0.23 \times 1.1$ (取率)		kg	1.14			
		スラブ及び直壁②	$1.06 \times 0.35$ (取率)		kg	0.37			
		合計	$1.32+1.14+0.37$		kg	2.83			
専用モルタル	1号	164kg/m (修復0mm)	$(0.6+0.25) \times 164$		kg	139.40			
	3号	277kg/m (修復0mm)	$1.6 \times 277$		kg	443.20			
	スラブ (修復0mm)		$1.06 \times (0.045+0) \times 1875 \times 1.2$ (取率)		kg	107.33			
	合計		$139.4+443.2+107.33$		kg	689.93			
プライマー	既設MH内面		$(1.46+0.57+1.13+7.78) \times 0.06 \times 1.1$ (取率)		kg	0.72			
コンクリートアンカー			$1.06 \times 4$		本	5			
専用型枠	1号		$(0.9-0.07) \times \pi \times (0.6+0.25)$		m2	2.22			
	3号		$(1.5-0.07) \times \pi \times 1.6$		m2	7.19			
	合計		$2.22+7.19$		m2	9.41			
専用治具			1.06		m2	1.06			
仕上げ工									
足掛金具	設置				本	8			
端部仕上げ	φ250		$1 \times 1$		箇所	1			
	φ800		$0.5 \times 1$		箇所	0.5			
	φ900		$0.5 \times 1$		箇所	0.5			

マンホール 複合更生計算書									
マンホール番号	種別		深	流入出管径					
GS-53-1-0	円形	1500	2.99	900	900	600	300		
	矩形			底部	底部				
形状図									
GS-53-1-0									
数量表									
名称	規格		算式		単位	数量			
準備工									
洗浄・はつり	斜壁		$\pi (0.45+0.3) \sqrt{(0.45-0.3)^2+0.6^2}$		m2	1.46			
	直壁①		$0.9 \times \pi \times 0.2$		m2	0.57			
	スラブ		$1/4 \times 1.5 \times 1.5 \times \pi - 1/4 \times 0.9 \times 0.9 \times \pi$		m2	1.13			
	直壁②		$1.5 \times \pi \times 1.49$		m2	7.02			
足掛金具	撤去				本	7			
人孔更生工									
使用材料									
斜壁ライナー	1号	H~600 t=3mm	0.60		本	1			
		H=1.0m t=3mm	0.25		本	1			
直壁ライナー	1号	H=2.0m t=3mm			本				
		H=1.0m t=3mm			本				
	3号	H=1.0m t=3mm			本				
		H=2.0m t=3mm	1.44		本	1			
専用パネル	t=5mm		$1.06 \times 1.3$ (取率)		m2	1.38			
補強材A	炭素繊維 (直壁①+スラブ+直壁②)		$(0.57+1.13+7.02) \times 1.2$ (取率)		m2	10.12			
溶接棒	ワイヤー	1号直壁①	$(0.9-0.07) \times \pi \times 2 \times 0.23 \times 1.1$ (取率)		kg	1.32			
		3号直壁②	$(1.5-0.07) \times \pi \times 1 \times 0.23 \times 1.1$ (取率)		kg	1.14			
		スラブ及び直壁②	$1.06 \times 0.35$ (取率)		kg	0.37			
		合計	$1.32+1.14+0.37$		kg	2.83			
専用モルタル	1号 164kg/m (修復0mm)		$(0.6+0.25) \times 164$		kg	139.40			
	3号 277kg/m (修復0mm)		$1.44 \times 277$		kg	398.88			
	スラブ (修復0mm)		$1.06 \times (0.045+0) \times 1875 \times 1.2$ (取率)		kg	107.33			
	合計		$139.4+398.88+107.33$		kg	645.61			
プライマー	既設MH内面		$(1.46+0.57+1.13+7.02) \times 0.06 \times 1.1$ (取率)		kg	0.67			
コンクリートアンカー			$1.06 \times 4$		本	5			
専用型枠	1号		$(0.9-0.07) \times \pi \times (0.6+0.25)$		m2	2.22			
	3号		$(1.5-0.07) \times \pi \times 1.44$		m2	6.47			
	合計		$2.22+6.47$		m2	8.69			
専用治具			1.06		m2	1.06			
仕上げ工									
足掛金具	設置				本	7			
端部仕上げ	$\phi 300$		$1 \times 1$		箇所	1			
	$\phi 600$		$1 \times 1$		箇所	1			
	$\phi 900$		$0.5 \times 2$		箇所	1			

マンホール 複合更生計算書										
マンホール番号	種別			深	流入出管径					
	円形	900			450	450	450	450		
GS2-47-1-1	矩形			1.93	底部	底部				
形状図										
GS2-47-1-1										
数量表										
名称	規格			算式		単位	数量			
準備工										
洗浄・はつり	斜壁			$\pi (0.45+0.3) \sqrt{(0.45-0.3)^2+0.6^2}$		m2	1.46			
	直壁①			$0.9 \times \pi \times 0.85$		m2	2.40			
足掛金具	撤去					本	4			
人孔更生工										
使用材料										
斜壁ライナー	1号	H~600 t=3mm		0.60		本	1			
直壁ライナー		H=1.0m t=3mm		0.85		本	1			
		H=2.0m t=3mm				本				
補強材A	炭素繊維(直壁)			$2.4 \times 1.2$ (収率)		m2	2.88			
溶接棒	ワイヤー	1号直壁①		$(0.9-0.07) \times \pi \times 0.23 \times 1.1$ (収率)		kg	0.66			
専用モルタル	1号	164kg/m(修復0mm)		$(0.6+0.85) \times 164$		kg	237.80			
プライマー	既設MH内面			$(1.46+2.4) \times 0.06 \times 1.1$ (収率)		kg	0.25			
専用型枠				$(0.9-0.07) \times \pi \times (0.6+0.85)$		m2	3.78			
仕上げ工										
足掛金具	設置					本	6			
端部仕上げ	φ450			$1 \times 2+0.5 \times 2$		箇所	3			

マンホール 複合更生計算書										
マンホール番号		種別		深	流入出管径					
GS2-112-1	円形	900		2.07	450	450				
	矩形				底部	底部				
形状図										
GS2-112-1										
数量表										
名称	規格		算式		単位	数量				
準備工										
洗浄・はつり	斜壁		$\pi (0.45+0.3) \sqrt{(0.45-0.3)^2+0.6^2}$		m2	1.46				
	直壁①		$0.9 \times \pi \times 0.99$		m2	2.80				
足掛金具	撤去				本	4				
人孔更生工										
使用材料										
斜壁ライナー	1号	H~600 t=3mm	0.60		本	1				
直壁ライナー		H=1.0m t=3mm	0.99		本	1				
		H=2.0m t=3mm			本					
補強材A	炭素繊維(直壁)		$2.8 \times 1.2$ (収率)		m2	3.36				
溶接棒	ワイヤー	1号直壁①	$(0.9-0.07) \times \pi \times 0.23 \times 1.1$ (収率)		kg	0.66				
専用モルタル	1号	164kg/m(修復0mm)	$(0.6+0.99) \times 164$		kg	260.76				
プライマー	既設MH内面		$(1.46+2.8) \times 0.06 \times 1.1$ (収率)		kg	0.28				
専用型枠			$(0.9-0.07) \times \pi \times (0.6+0.99)$		m2	4.15				
仕上げ工										
足掛金具	設置				本	5				
端部仕上げ	φ450		$0.5 \times 2$		箇所	1				

マンホール 複合更生計算書										
マンホール番号	種別			深	流入出管径					
	円形	1200			450	450				
GS2-113-1	矩形			2.29	底部	底部				
形状図										
GS2-113-1										
数量表										
名称	規格			算式		単位	数量			
準備工										
洗浄・はつり	斜壁			$\pi (0.6+0.3) \sqrt{(0.6-0.3)^2+0.6^2}$		m2	1.90			
	直壁①			$1.2 \times \pi \times 1.21$		m2	4.56			
足掛金具	撤去					本	0			
人孔更生工										
使用材料										
斜壁ライナー	2号	H~600 t=3mm		0.60		本	1			
直壁ライナー		H=1.0m t=3mm				本				
		H=2.0m t=3mm		1.21		本	1			
補強材A	炭素繊維(直壁)			$4.56 \times 1.2$ (収率)		m2	5.47			
溶接棒	ワイヤー	2号直壁		$(1.2-0.07) \times \pi \times 0.23 \times 1.1$ (収率)		kg	0.90			
専用モルタル	2号	220kg/m(修復0mm)		$(0.6+1.21) \times 220$		kg	398.20			
プライマー	既設MH内面			$(1.9+4.56) \times 0.06 \times 1.1$ (収率)		kg	0.43			
専用型枠				$(1.2-0.07) \times \pi \times (0.6+1.21)$		m2	6.43			
仕上げ工										
足掛金具	設置					本	6			
端部仕上げ	φ450			$0.5 \times 2$		箇所	1			

マンホール 複合更生計算書										
マンホール番号	種別			深	流入出管径					
GS-116-1-0	円形			3.8	1350	1350	500	450	200	
	矩形	1800	2000		底部	底部				
形状図										
GS-116-1-0										
数量表										
名称	規格			算式		単位	数量			
準備工										
洗浄・はつり	斜壁			$\pi (0.45+0.3) \sqrt{(0.45-0.3)^2+0.6^2}$		m2	1.46			
	直壁①			$0.9 \times \pi \times 0.83$		m2	2.35			
	スラブ			$1.8 \times 2.0 - 1/4 \times 0.9 \times 0.9 \times \pi$		m2	2.96			
	直壁②			$(1.8+2.0) \times 1.44 \times 2$		m2	10.94			
足掛金具	撤去					本	6			
人孔更生工										
使用材料										
斜壁ライナー	1号	H~600 t=3mm	0.60			本	1			
直壁ライナー		H=1.0m t=3mm	0.93			本	1			
		H=2.0m t=3mm				本				
専用パネル	t=5mm		$(2.27+9.00) \times 1.3$ (取率)			m2	14.65			
補強材A	炭素繊維 (直壁①+スラブ)		$(2.35+2.96) \times 1.2$ (取率)			m2	6.37			
補強材B	炭素繊維 (直壁②)		$10.94 \times 1.2$ (取率)			m2	13.13			
溶接棒	ワイヤー	1号直壁①	$(0.9-0.07) \times \pi \times 2 \times 0.23 \times 1.1$ (取率)			kg	1.32			
		スラブ及び直壁②	$(2.27+9) \times 0.35$ (取率)			kg	3.94			
		合計	1.32+3.94			kg	5.26			
専用モルタル	1号 164kg/m (修復0mm)		$(0.6+0.93) \times 164$			kg	250.92			
	スラブ (修復0mm)		$\{((2.27 \times (0.095+0)) + (9 \times (0.105+0))) \times 1875 \times 1.2$ (取率)			kg	2611.46			
	合計		250.92+2611.46			kg	2862.38			
プライマー	既設MH内面		$(1.46+2.35+2.96+10.94) \times 0.06 \times 1.1$ (取率)			kg	1.17			
コンクリートアンカー				$(2.27+9.00) \times 4$			本	46		
専用型枠				$(0.9-0.07) \times \pi \times (0.6+0.93)$			m2	3.99		
専用治具				2.27+9.00			m2	11.27		
仕上げ工										
足掛金具	設置						本	9		
端部仕上げ	φ200			1×1			箇所	1		
	φ450			1×1			箇所	1		
	φ500			1×1			箇所	1		
	φ1350			0.5×2			箇所	1		

マンホール 複合更生計算書									
マンホール番号	種別		深	流入出管径					
GS2-115-1	円形	1800	3.28	600	200	600			
	矩形			底部	底部				
形状図									
GS2-115-1									
数量表									
名称	規格		算式		単位	数量			
準備工									
洗浄・はつり	斜壁		$\pi (0.6+0.3) \sqrt{(0.6-0.3)^2+0.6^2}$		m2	1.90			
	直壁①		$1.2 \times \pi \times 1.05$		m2	3.96			
	スラブ		$1/4 \times 1.8 \times 1.8 \times \pi - 1/4 \times 1.2 \times 1.2 \times \pi$		m2	1.41			
	直壁②		$1.8 \times \pi \times 1.08$		m2	6.11			
足掛金具	撤去				本	0			
人孔更生工									
使用材料									
斜壁ライナー	2号	H~600 t=3mm	0.60		本	1			
直壁ライナー		H=1.0m t=3mm			本				
直壁ライナー		H=2.0m t=3mm	1.10		本	1			
専用パネル	t=5mm		$(1.27+5.50) \times 1.3$ (取率)		m2	8.80			
補強材A	炭素繊維 (直壁①+スラブ+直壁②)		$(3.96+1.41+6.11) \times 1.2$ (取率)		m2	13.78			
溶接棒	ワイヤー	1号直壁①	$(1.2-0.07) \times \pi \times 2 \times 0.23 \times 1.1$ (取率)		kg	1.80			
		スラブ及び直壁②	$(1.27+5.50) \times 0.35$ (取率)		kg	2.37			
		合計	$1.8+2.37$		kg	4.17			
専用モルタル	2号 220kg/m (修復0mm)		$(0.6+1.1) \times 220$		kg	374.00			
	スラブ (修復0mm)		$((1.27 \times (0.045+0)) + (5.5 \times (0.045+0))) \times 1875 \times 1.2$ (取率)		kg	685.46			
	合計		$374+685.46$		kg	1059.46			
プライマー	既設MH内面		$(1.9+3.96+1.41+6.11) \times 0.06 \times 1.1$ (取率)		kg	0.88			
コンクリートアンカー			$(1.27+5.50) \times 4$		本	28			
専用型枠			$(1.2-0.07) \times \pi \times (0.6+1.1)$		m2	6.03			
専用治具			$1.27+5.50$		m2	6.77			
仕上げ工									
足掛金具	設置				本	9			
端部仕上げ	φ200		$0.5 \times 1$		箇所	0.5			
	φ600		$0.5 \times 1 + 1 \times 1$		箇所	1.5			



マンホール 複合更生計算書										
マンホール番号	種別			深	流入出管径					
GS2-400-2	円形	1200		3.53	600	600				
	矩形				底部	底部				
形状図										
GS2-400-2										
数量表										
名称	規格			算式		単位	数量			
準備工										
洗浄・はつり	斜壁①			$\pi (0.45+0.3) \sqrt{(0.45-0.3)^2+0.6^2}$		m2	1.46			
	斜壁②			$\pi (0.6+0.45) \sqrt{(0.6-0.45)^2+0.6^2}$		m2	2.04			
	直壁①			$1.2 \times \pi \times 1.78$		m2	6.71			
足掛金具	撤去					本	6			
人孔更生工										
使用材料										
斜壁ライナー	1号	H~600 t=3mm	0.60			本	1			
		H~600 t=3mm	0.60			本	1			
直壁ライナー	2号	H=1.0m t=3mm				本				
		H=2.0m t=3mm	1.78			本	1			
補強材A	炭素繊維(直壁)		$6.71 \times 1.2$ (収率)			m2	8.05			
溶接棒	ワイヤー	1号斜壁	$(0.9-0.07) \times \pi \times 0.23 \times 1.1$ (収率)			kg	0.66			
		2号直壁	$(1.2-0.07) \times \pi \times 0.23 \times 1.1$ (収率)			kg	0.90			
		合計	$0.66+0.90$			kg	1.56			
専用モルタル	1号	164kg/m(修復0mm)	$0.6 \times 164$			kg	98.40			
	2号	220kg/m(修復0mm)	$(0.6+1.78) \times 220$			kg	523.60			
	合計		$98.4+523.6$			kg	622.00			
プライマー	既設MH内面		$(1.46+2.04+6.71) \times 0.06 \times 1.1$ (収率)			kg	0.67			
専用型枠			$(0.9-0.07) \times \pi \times 0.6 + (1.2-0.07) \times \pi \times (0.6+1.78)$			m2	10.01			
仕上げ工										
足掛金具	設置						本	9		
端部仕上げ	φ600			$0.5 \times 2$			箇所	1		

単独

## 数量計算書

一体型内面補修工

一体型内面補修工数量総括表【単独】

工 種	規 格	単位	数 量	備 考
一体型内面補修工				
一体型内面補修	φ450-150	箇所	3	
換気工		日	1	
止水プラグ	φ450	日	1	
交通誘導員				
交通誘導員A	交替要員1(人/日)含む	人	2	
交通誘導員B		人	1	

一体型内面補修箇所調書

路 線 No	規 格	単位	数 量	止水プラグ(個)					備 考
				φ450					
台111-2B	φ450-150	箇所	1	2					
台112	φ450-150	箇所	1	1					
台113	φ450-150	箇所	1	1					
計				4					

単 価 一 覧 表 ① (1/5)

(工事名) (地震) 第70工区下水道工事 (交付金)

名 称	規 格	単位	採用価格	備 考
【製管工法φ450, φ600】				
更生管材	φ450用	m	2,340	見積価格
更生管材	φ600用	m	2,340	見積価格
裏込材	φ450, 600用	m <sup>3</sup>	254,000	見積価格
粘土モルタル	粘土：セメント (1：1)	m <sup>3</sup>	88,740	見積価格
モルタル	配合1：2	m <sup>3</sup>		建設物価 9月 P. 105
バルブソケット	TS継手φ50	個		建設物価 9月 P. 693
エルボ	TS継手φ50	個		建設物価 9月 P. 692
注入ホース	高圧ホースφ50×20m	本		推進積算資料 2024版 P. 294
圧力ゲージプロテクター		個		推進積算資料 2024版 P. 294
圧力ゲージ	圧力計0.10Mpa, φ100mm, 1.6級	個		積算資料 9月 P. 854
カムロック	φ50 (オス・メス)	組	10,430	見積価格
塩ビボールバルブ	ボールバルブ (TS) 50A	個	14,030	見積価格
塩ビ管	VP13 水道管	m		建設物価 9月 P. 689
エルボ	TS継手φ13	個		建設物価 9月 P. 692
塩ビボールバルブ	ボールバルブ (TS) 13A	個	3,960	見積価格
ねじ込み式可鍛鉄製管継手	径違いチーズφ50	個		建設物価 9月 P. 666
ニップル	φ50	個		建設物価 9月 P. 668
塩ビ管	VP50 一般管	m		建設物価 9月 P. 689
給水車損料損料 (供用1日当り)	4t 121kw (160PS)	日		機械損料算定表 ①
本管用TVカメラ車損料 (供用1日当り)	2t	日		機械損料算定表 ①
製管機損料 (運転1時間当り)	元押式 M1型	時間		機械損料算定表 ①
製管機損料 (供用1日当り)	元押式 M1型	日		機械損料算定表 ①
油圧ユニット損料 (運転1時間当り)	17.0kW, 元押式	時間		機械損料算定表 ①
油圧ユニット損料 (供用1日当り)	17.0kW, 元押式	日		機械損料算定表 ①
融着機損料		日		機械損料算定表 ①
ウィンチ (モーターウィンチ) 損料	2.2kW用	日		機械損料算定表 ①
自動注入装置損料	1号, 2号用	日		機械損料算定表 ①
取付管側用せん孔機損料		日		機械損料算定表 ①
本管側用せん孔機損料		日		機械損料算定表 ①
取付管用TVカメラ損料 (供用1日当り)	単体, 直視式	日		機械損料算定表 ①
浮上防止用チェーン損料 (大)	34.40kg/m×5.0m/本	本		機械損料算定表 ①
浮上防止用チェーン (小) 損料	19.35kg/m×5.0m/本	本		機械損料算定表 ①

單 價 一 覽 表 ② (2/5)

(工事名) (地震) 第70工区下水道工事 (交付金)

[illegible]

單 價 一 覽 表 ③ (3/5)

(工事名) (地震) 第70工区下水道工事 (交付金)

[illegible]

④  $(4/5)$

(地震) 第70工区下水道工事 (交付金)

[illegible]

單 價 一 覽 表 ⑤ (5/5)

(工事名) (地震) 第70工区下水道工事 (交付金)

[illegible]



機械損料算定表①（製管工法φ600,φ450）

: 採用値

機種	型式	(1) 基礎価格 (千円)	運転一時間当たり		供用一日当たり		運転一時間(日)当たり(換算値)		供用一日当たり(換算値)		基礎価格出典 (1)欄	損料率出典 (8)(10)(12)(14)欄
			(8) 損料率 (×10 <sup>-6</sup> )	(9) 損料 円	(10) 損料率 (×10 <sup>-6</sup> )	(11) 損料 円	(12) 損料率 (×10 <sup>-6</sup> )	(13) 損料 円	(14) 損料率 (×10 <sup>-6</sup> )	(15) 損料 円		
給水車	4t 121kw(160PS)										推進積算資料P311	2020年下水協維持P145(132kW準用)
本管用TVカメラ車	2t										推進建設物価P363(本管用TVカメラ搭載車)	2020年下水協維持P145
製管機	元押し式 M-1型		396		1,385		704		3,167		推進建設物価P341	見積
油圧ユニット	17kw 元押し式M1,M2共通		396		1,385		704		3,167		推進建設物価P341	見積
融着機(プロファイル融着機)			(日) 2,375		1,260		(日) 4,056		3,042		推進積算資料P293	見積
ウインチ(モーターウインチ)	2.2kW用										推進建設物価P342	機損算定表P380(モーターウインチ1603-101-005-040)
自動裏込注入車(自動注入装置)	1号,2号用		(日) 2,175		1,006		(日) 3,517		2,638		推進建設物価P341(裏込め・21A準用)	見積
取付管側用せん孔機	2t		(日) 2,931		1,385		(日) 4,778		3,583		推進建設物価P342(削孔機)	見積
本管側用せん孔機	2t 63kw		(日) 1,016		746		(日) 2,010		1,508		推進建設物価P342(削孔機)	見積
取付管用TVカメラ	取付管用 単体 直視式								1,661		推進建設物価P342	2023年管路管理P462(取付管テレビカメラ適用)
浮上防止用チェーン(大)	34.40kg/m 5.0m/本		-	-	900		-	-	-	-	推進積算資料P294	見積
浮上防止用チェーン(小)	19.35kg/m 5.0m/本		-	-	900		-	-	-	-	推進積算資料P294	見積

【基礎価格】

- ①機損算定表: 令和6年度版 建設機械等損料算定表  
②推進建設物価: 2024年度版『建設物価』 推進工事用機械器具等基礎価格表(一般財団法人 建設物価調査会)  
③推進積算資料: 2024年度版『積算資料』 推進工事用機械器具等基礎価格表(財団法人経済調査会発行)

【損料率】

- ①機損算定表: 令和6年度版 建設機械等損料算定表  
②2012年下水協管更生: 2012年下水道用設計積算要領[管きょ更生工法編](日本下水道協会発行)  
③2020年下水協維持: 2020年下水道施設維持管理積算要領(日本下水道協会発行)  
④2023年管路管理: 2023年下水道管路管理積算資料(日本下水道管路管理業協会発行)

※損料金額は、すべて有効数字3桁(4桁以上の数値は4位で四捨五入して3位表示)。  
※(日)記載機械は、運転1時間当りを運転1日当りと読み替える。運転1日当り対象機械である。

機械損料算定表②（準備工・共通）

:採用値

①	②	前処理		機種	型式	(1) 基礎価格 (千円)	運転一時間当たり		供用一日当たり		運転一時間(日)当たり(換算値)		供用一日当たり(換算値)		基礎価格出典 (1)欄	損料率出典 (8)(10)(12)(14)欄
		③	④				(8) 損料率 (×10 <sup>-6</sup> )	(9) 損料 円	(10) 損料率 (×10 <sup>-6</sup> )	(11) 損料 円	(12) 損料率 (×10 <sup>-6</sup> )	(13) 損料 円	(14) 損料率 (×10 <sup>-6</sup> )	(15) 損料 円		
管渠内 洗浄	カメラ 調査	取付管 突出	モルタル 除去等	高圧洗浄車	4t 147kw										推進建設物価P363	2020年下水協維持P145
○		○		給水車	4t 132kw(180PS)										推進積算資料P311	2020年下水協維持P145
○			○	本管用TVカメラ車	2t										推進建設物価P363 (本管用TVカメラ搭載車)	2020年下水協維持P145
	○	○	○	止水プラグ	φ 450										推進積算資料P311	2020年下水協維持P145
				止水プラグ	φ 600										推進積算資料P311	2020年下水協維持P145

【基礎価格】

- ①機損算定表:令和6年度版 建設機械等損料算定表
- ②推進建設物価:2024年度版『建設物価』 推進工事用機械器具等基礎価格表(一般財団法人 建設物価調査会)
- ③推進積算資料:2024年度版『積算資料』 推進工事用機械器具等基礎価格表(財団法人経済調査会発行)

【損料率】

- ①機損算定表:令和6年度版 建設機械等損料算定表
- ②2012年下水協管更生:2012年下水道用設計積算要領[管きょ更生工法編](日本下水道協会発行)
- ③2020年下水協維持:2020年下水道施設維持管理積算要領(日本下水道協会発行)
- ④2023年管路管理:2023年下水道管路管理積算資料(日本下水道管路管理業協会発行)

※損料金額は、すべて有効数字3桁(4桁以上の数値は4位で四捨五入して3位表示)。

※(日)記載機械は、運転1時間当りを運転1日当りと読み替える。運転日当り対象機械である。

機械損料算定表③（内面補修工）

: 採用値

機種	型式	(1) 基礎価格 (千円)	運転一時間当たり		供用一日当たり		運転一時間当たり(換算値)		供用一日当たり(換算値)		基礎価格出典 (1)欄	損料率出典 (8)(10)(12)(14)欄
			(8) 損料率 (×10 <sup>-6</sup> )	(9) 損料 (×10 <sup>-6</sup> )	(10) 損料率 (×10 <sup>-6</sup> )	(11) 損料 (×10 <sup>-6</sup> )	(12) 損料率 (×10 <sup>-6</sup> )	(13) 損料 円	(14) 損料率 (×10 <sup>-6</sup> )	(15) 損料 円		
高圧洗浄車	4t 154kw (210PS)										推進積算資料P311	2023年管路管理P461 (4t高圧洗浄車)

【基礎価格】

- ①機械損算定表: 令和6年度版 建設機械等損料算定表
- ②推進建設物価: 2024年度版『建設物価』 推進工事用機械器具等基礎価格表(一般財団法人 建設物価調査会)
- ③推進積算資料: 2024年度版『積算資料』 推進工事用機械器具等基礎価格表(財団法人経済調査会発行)

【損料率】

- ①機械損算定表: 令和6年度版 建設機械等損料算定表
- ②2012年下水協管更生: 2012年下水道用設計積算要領[管きょ更生工法編](日本下水道協会発行)
- ③2020年下水協維持: 2020年下水道施設維持管理積算要領(日本下水道協会発行)
- ④2023年管路管理: 2023年下水道管路管理積算資料(日本下水道管路管理業協会発行)

※損料金額は、すべて有効数字3桁(4桁以上の数値は4位で四捨五入して3位表示)。  
※(日)記載機械は、運転1時間当りを運転1日当りと読み替える。運転日当り対象機械である。

機械損料算定表④ 管口可とう化

:採用値

機種	型式	(1) 基礎価格 (千円)	運転一時間当たり		供用一日当たり		運転一時間(日)当たり(換算値)		供用一日当たり(換算値)		基礎価格出典 (1)欄	損料率出典 (8)(10)(12)(14)欄
			(8) 損料率 (×10 <sup>-6</sup> )	(9) 損料 円	(10) 損料率 (×10 <sup>-6</sup> )	(11) 損料 円	(12) 損料率 (×10 <sup>-6</sup> )	(13) 損料 円	(14) 損料率 (×10 <sup>-6</sup> )	(15) 損料 円		
本管用TVカメラ車	2t										推進建設物価P363 (本管用TVカメラ搭載車)	2020年下水協維持P145
小型高压洗浄機	60ℓ/min 4.9MPa 7.0kW								2,214		推進建設物価P363	2023年管路管理P461

- 【基礎価格】
- ①機械損料算定表:令和6年度版 建設機械等損料算定表
  - ②推進建設物価:2024年度版『建設物価』 推進工事用機械器具等基礎価格表(一般財団法人 建設物価調査会)
  - ③推進積算資料:2024年度版『積算資料』 推進工事用機械器具等基礎価格表(財団法人経済調査会発行)

- 【損料率】
- ①機械損料算定表:令和6年度版 建設機械等損料算定表
  - ②2012年下水協管更生:2012年下水道用設計積算要領[管きょ更生工法編](日本下水道協会発行)
  - ③2020年下水協維持:2020年下水道施設維持管理積算要領(日本下水道協会発行)
  - ④2023年管路管理:2023年下水道管路管理積算資料(日本下水道管路管理業協会発行)

※損料金額は、すべて有効数字3桁(4桁以上の数値は4位で四捨五入して3位表示)。  
※(日)記載機械は、運転1時間当りを運転1日当りと読み替える。運転日当り対象機械である。

機械損料算定表⑤      MH更生

:採用値

機種	型式	(1) 基礎価格	運転一時間当たり		供用一日当たり		運転一時間(日)当たり(換算値)		供用一日当たり(換算値)		基礎価格出典 (1)欄	損料率出典 (8)(10)(12)(14)欄
		(千円)	(8) 損料率	(9) 損料	(10) 損料率	(11) 損料	(12) 損料率	(13) 損料	(14) 損料率	(15) 損料		
			(×10 <sup>-6</sup> )	円	(×10 <sup>-6</sup> )	円	(×10 <sup>-6</sup> )	円	(×10 <sup>-6</sup> )	円		
高圧洗浄車	4t 210ps (154kw)										推進積算資料P311	2023年管路管理P461

- 【基礎価格】
- ①機械算定表:令和6年度版 建設機械等損料算定表
  - ②推進建設物価:2024年度版『建設物価』 推進工事用機械器具等基礎価格表(一般財団法人 建設物価調査会)
  - ③推進積算資料:2024年度版『積算資料』 推進工事用機械器具等基礎価格表(財団法人経済調査会発行)

- 【損料率】
- ①機械算定表:令和6年度版 建設機械等損料算定表
  - ②2012年下水協管更生:2012年下水道用設計積算要領[管きょ更生工法編](日本下水道協会発行)
  - ③2020年下水協維持:2020年下水道施設維持管理積算要領(日本下水道協会発行)
  - ④2023年管路管理:2023年下水道管路管理積算資料(日本下水道管路管理業協会発行)

※損料金額は、すべて整数(小数点第一位で四捨五入して整数表示)。  
※(日)記載機械は、運転1時間当りを運転1日当りと読み替える。運転日当り対象機械である。